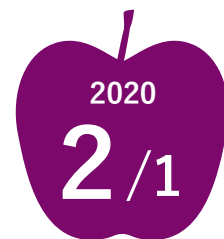


みんなで作る みんなをつなぐ

広報 ひろさき



No.335

特集

二十歳の祭典

認知症になっても安心して暮らせるまち
市民税県民税の申告
弘前の子どものたちの学びのようす



「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は
障がい福祉課（☎ 40-7036）まで。



「広報ひろさき」をアプリで読めます！
「マチイロ」で検索（iOS・Android 対応）



弘前市誕生
130周年





新春特別企画

正解発表 クロスワードパズル

たくさんのご応募ありがとうございました！



広報ひろさき1月1日号に掲載した「クロスワードパズルで福袋を当てよう！」の質問の答えは「岩木山」でした。正解者の中から抽選で10人に「福袋」をプレゼントします。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます(2月中を予定)。

なお、1月10日現在の応募者数は318人(正答率94.3%)です。たくさんのご応募ありがとうございました。皆さんから寄せられた意見などは、今後のよりよい誌面づくりのために生かしていきます。
■問い合わせ先 広聴広報課広聴広報係 (☎ 35-1194)



【質問】
百名山にもなっている県内で一番高い山は？

ヒ_A ヤ_B ク_C メ_D イ_E ザ_F ン_G にもなっている

ケ_H ン_I ナ_J イ_K で一番

タ_L カ_M イ_N ヤ_O マ_P は？

1	イ	コ	イ _E		4	ア	ジ	ミ		7	フ	リ	コ	メ	9		
10	ガ	サ	エ	ビ		12	ユ	キ	カ	キ		14	メ	イ			
15	メ	カ _M		16	ラ	17	セ	ン		18	キ	ノ	コ		ク		
	ン		20	ホ		21	ヒ _A	ビ	ヤ _O		22	ト	ウ	カ _I	ン		
24	チ	ヨ	ウ	サ		シ		26	ト	ウ		ヤ _B					
		27	ウ	ラ		28	テ	ツ	ド	ウ		30	レ		31		
32	ニ	カ	イ _N	ゼ	キ		33	シ	モ	ン	キ	カ	ン				
35	ジ	ン	バ		36	カ	サ		ロ		38	シ	ケ _H				
	コ		39	シ	40	マ _P		41	ク _C	ウ	コ	ウ		43	ア	44	ザ _F
45	ウ	46	メ _D		47	キ	ム	ラ		49	シ	ン _G	ト	シ	ン		
51	ツ	ボ	52	ミ		53	ツ	ガ	ル		54	カ	ソ		セ		
55	ウ	シ	ト	ラ		イ _K		56	タ _L	ン				57	ナ _J	ツ	



令和元年度

特集 二十歳の祭典

新しい時代を担うハタチの門出

1月12日(日)、市民会館(下白銀町)を会場に、令和最初の「二十歳の祭典(成人式・成人祭)」が開催されました。対象となったのは、平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた1,646人(男性857人・女性789人)で、そのうち1,268人が参加しました。

成人式では、中学校や高校時代の恩師からの励ましのビデオメッセージが贈られ、恩師の姿がスクリーンに映し出されると、会場から歓声があが

り、懐かしそうに見つめる新成人の姿が見られました。

式典終了後に行われた成人祭では、お茶会や友人との記念写真を取めたメモリアルカレンダーの作成などが行われたほか、市民会館前庭に設けられた軽食コーナーで、温かいコーヒーや雑煮などが振る舞われました。

新成人たちは、旧友との再会を喜び、楽しいひとときを過ごしていました。



新成人宣誓

宣誓、私たち新成人一同は、自分の力を信じて困難を恐れず全身全霊で最後まで諦めずに何事にも取り組んでいくことを誓います。
 宣誓、私たち新成人一同は、これからの社会を支える一員として仲間や地域を大切に、地域に貢献していくことを誓います。
 今までお世話になった方々への感謝を忘れず、弘前で生まれ育った誇りと成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓います。

新成人代表 三浦 希 (左)・羽場 乃愛 (右)



主催者あいさつ

晴れて成人式を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの新たな門出を心からお祝い申し上げますとともに、これまで皆さんを温かく見守り、育ててこられたご家族の皆様にお喜びを申し上げます。

元号も平成から令和へ変わり新しい時代が始まりました。弘前市は、先人たちが築き上げた伝統と文化を大切に、さまざまな難局を乗り越え、引き継がれてきた素晴らしいまちです。皆さんには、これからもさまざまな分野で活躍し、この弘前市の更なる発展の一翼を担っていただきたいと強く願います。(要約・抜粋)

弘前市長 櫻田 宏



新成人に聞きました!

あなたの夢は何ですか?





認知症になっても安心して暮らせるまち

認知症とは

いろいろな原因で脳の細胞が壊れたり、働きが悪くなったりすることで、記憶力や判断力などにさまざまな障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態が続くことをいいます。認知症は特別な病気ではなく、誰にでも起こりうる脳の病気です。

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して

認知症を正しく理解し、認知症の人の声に耳を傾け、やさしく見守り、支えてくれる、そんな人が地域にたくさんいれば安心です。ここでは、認知症の人や家族を支える活動を紹介합니다。

ただいまサポート事業

認知症やその疑いのある高齢者が道に迷ったり、自宅がどこかわからなくなったりした際に、無事に「ただいま！」と帰宅できるように、ご本人の情報を事前に市に登録しておき、警察や協力機関と連携することで、帰宅できなくなった人の早期発見・保護を目指します。事前登録者へは登録番号を記載したグッズを交付しますので、不安のある人はぜひ事前登録を。

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る支援者「認知症サポーター」を養成しています。講座では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方などについて学べます。養成講座を希望する市内在住の10人以上のグループや事業所、学校等に、講師役となるキャラバン・メイトを無料で派遣します。

認知症の人への声かけ模擬訓練

道端などで困っている認知症の人を発見した場面を想定して、声掛けや対応について学びます。

認知症の人は戻る場所が分からず、不安な気持ちでいることもあります。また、帰りを待つ家族も不安な気持ちでいます。早期発見、早期対応することで認知症の人の身の安全が確保され、家族の安心にもつながります。

ひろさき認知症あんしん生活実践塾

認知症の人を介護している施設の職員や家族を対象に、毎月1回、半年間にわたって実施しています。認知症の人の「体調を整えるケア」と「平穏な心理を保つケア」を学び、宿題の実践を通して、症状の軽減や発症の予防を目指します。また、施設や家庭での介護の工夫の方法を、講義や事例検討を通して学びます。

※今年度の申し込みは終了。来年度も実施予定。

認知症の人と家族のつどい

認知症の人を抱えている介護者同士が話し合い、介護の知恵を得ることができる場所です。隔月開催しています。

- ▼とき 3月8日(日) 午後1時30分～3時30分
- ▼ところ 弘前市社会福祉センター(宮園2丁目)2階
- ▼参加料 無料
- ※事前の申し込みは不要。
- 問い合わせ先 認知症の人と家族の会青森県支部(弘前地域世話人・中畑さん、☎44-4959、〈午後6時以降〉)

認知症介護者教室

認知症の人や家族、地域住民を対象に認知症介護者教室を開催します。医師、薬剤師等の専門職が認知症に関する講話をし、個別相談にも応じます。

- ▼とき 2月16日(日)、午後1時～4時(開場は0時30分)
- ▼ところ 市民文化交流館ホール(駅前町、ヒロロ4階)
- ▼参加料 無料
- ※事前の申し込みは不要。
- 問い合わせ先 介護福祉課(☎40-7072)



▲昨年の教室の様子

認知症カフェ

認知症の人とその家族、地域住民、専門職等、誰でも参加し集うことができる『居場所』、それが認知症カフェです。



カフェ名	ところ	とき	参加料	事前申し込み	問い合わせ先
橙燦(だいさん)カフェ	弘前学院大学1号館(稔町) オープンスペース ラーニングcommons	2月15日、3月14日の午後1時30分～3時	100円	いずれも不要	第三地域包括支援センター(☎39-2515)
あつぷるカフェ	土手町コミュニティパーク	2月15日、3月14日・21日の午前9時30分～11時30分	300円		特別養護老人ホーム サンアップルホーム(☎97-2111)
ハーモニカ	小規模多機能サービス まごの手(宮川3丁目)	2月21日、3月13日の午後1時30分～3時30分	100円		第一地域包括支援センター(☎31-1203)
土曜の音楽カフェ	泉野多目的コミュニティ施設	3月14日、午前10時～正午	100円		東部地域包括支援センター(☎26-2433)

相談窓口

地域包括支援センター

認知症地域支援推進員が認知症の人や家族の相談に応じ、必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう関係機関と連携を図り、認知症の人と家族を支援する体制づくりを進めています。

- 問い合わせ先 介護福祉課(☎40-7072)

弘前愛成会病院認知症疾患医療センター

認知症の検査・診断・治療のほか、相談も受け付けています。

- 問い合わせ先 弘前愛成会病院(☎フリーダイヤル0120-085-255〈平日の午前9時～午後5時、土曜日の午前9時～正午〉)

担当地区	地域包括支援センター	ところ	問い合わせ先
第一中学校区	第一地域包括支援センター	野田2丁目2の1(津軽保健生協会館1階)	☎31-1203
第二中学校区	第二地域包括支援センター	藤野2丁目6の1(デイサービスセンターきらら弘前隣)	☎31-3811
南、第三中学校区(南中は松原小学校区に限る)	第三地域包括支援センター	豊原1丁目1の2(弘前静光園内)	☎39-2515
東、第五中学校区	東部地域包括支援センター	福村字早稲田27の1(福寿園向かい)	☎26-2433
津軽、常盤野、東目屋中学校区	西部地域包括支援センター	賀田2丁目4の2(パインハウス岩木内)	☎82-1516
第四、石川、相馬、南中学校区(南中は松原小学校区を除く)	南部地域包括支援センター	小沢字山崎44の9(希望ヶ丘ホーム内)	☎87-6779
新和、北辰、船沢、裾野中学校区	北部地域包括支援センター	高杉字山下298の1	☎95-2100

詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ先 介護福祉課(☎40-7072)

税の申告を
忘れずに

市民税県民税の申告

令和2年度の市民税県民税(個人住民税)の申告を、2月17日(期間前申告は2月6日)から受け付けます。締め切りは3月16日です。詳細は、本誌1月15日号と同時配布した「令和2年度市民税県民税申告のお知らせ」でご確認ください。

【対象者限定の期間前申告】

申告期間中の混雑を緩和するため、次に当てはまる人については、2月6日から14日までの平日、市役所3階申告会場で申告を受け付けします。○収入がなかった人/遺族年金・障害年金などの非課税収入のみの人/収入が給与、公的年金等のみで、各種控除を受けようとする人/収入が給与、公的年金等のほか、退職所得、公的年金以外の雑所得(個人年金、シルバー人材センター配分金など)、一時所得(生命保険の満期返戻金など)のみの人

【本申告】

2月17日から3月16日までの平日、市役所3階申告会場で申告を受け付けします。対象は、営業等、農業、不動産収入があるなど、期間前申告の対象とならない人や、対象となるが2月14日までに申告ができない人です。(町会指定をしています。できるだけ指定された期間の来場を)

【所得税の確定申告】

市でも所得税の確定申告を受け付けしますが、①平成30年分以前の確定申告、②青色申告、③準確定申告(死亡した人などの申告)、④住宅借入金等特別控除の1年目の申告、⑤災害関係の雑損控除の申告、⑥株式等の譲渡所得に関する申告、⑦建物に係る譲渡所得の確定申告は、市では受け

付けていません。下記の市立観光館での申告相談をお願いします。

■問い合わせ先 市民税課市民税第二・第三係(市役所2階、☎40-7025、40-7026)

【弘前税務署からのお知らせ】

所得税・消費税・贈与税確定申告書作成会場を開設します。

▼とき 2月17日(月)～3月16日(月)の平日、午前9時～午後4時

※混雑状況によっては、相談受け付けを早めに終了する場合がありますのでご了承願います。

▼ところ 市立観光館(下白銀町)1階多目的ホール

※会場開設期間前は、弘前税務署内を含め申告書作成会場を設置していません。/市立観光館駐車場を利用して無料駐車券の発行はしません。また、市立観光館駐車場は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関等でお越しください。

■問い合わせ先 弘前税務署個人課税第一部門(本町、☎32-0331、自動音声に従って「2」を選択)

【税務署へ確定申告される方へ】

税務署に提出された確定申告書は、各市町村にデータ送信され、住民税等の算定資料にもなります。そのため所得税と住民税とで取り扱いが異なる事項について、確定申告書第二表「住民税に関する事項」欄に記載することになっています。この記載を誤ると住民税額が正しく計算されなかったり、市町村が住民に対して行うサービスに影響が出る場合もありますので、確定申告の手引き等を確認し、正しく記載してください。

対象地区	受付期間	受付時間	受付会場
全地区(期間前/対象者限定)	2月6日～14日	午前8時30分～午後4時	市役所(上白銀町)3階申告会場
本庁地区(期間内)	2月17日～3月16日		
相馬総合支所地区	2月10日～14日	午前9時～午後4時	相馬総合支所(五所字野沢)1階多目的室
岩木総合支所地区	2月19日～3月11日	午前9時～午後4時	岩木総合支所(賀田1丁目)1階多目的室

たか丸くんと学ぼう♪

おもてなし
Omotenashi English

英会話

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国際的なおもてなしを学ぼう!

Lesson 6

100円バスはどこ?

Where is the 100yen bus?

100円バスはどこですか?

The bus stop is on the left of the Hirosaki City Office.

バス停は弘前市役所の左です。

たか丸くんのアドバイス

100円バスは「one hundred yen loop bus (ワンハンドレッドイエン ループバス)」ともいうよ。「loop」=「循環」という意味なんだ。

希望者は
申し込みを

弘前市都市再生住宅の入居者を募集

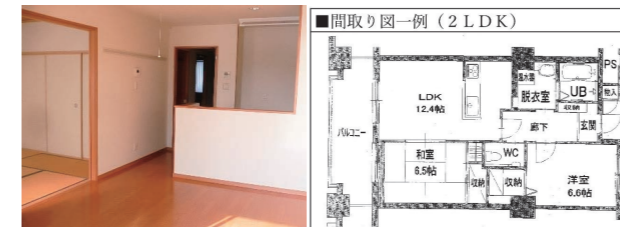
JR弘前駅より徒歩9分。スーパー、コンビニ、小学校、各種医療機関が徒歩5分以内に位置し、とても利便性の良い住宅です。

▼所在地 弘前市代官町67の1

▼物件概要 鉄筋コンクリート造(築12年)/1LDK・2LDK

▼所得要件 1年間の所得額から同居親族1人につき38万円を控除した額の12分の1の額が、15万8,000円を超え48万7,000円以下であること。(世帯状況により別途控除があります)

▼月額使用料 1LDK:5万800円～5万8,900



円/2LDK:5万9,600円～7万1,300円(所得額により異なります)

▼共益費(月額) 2,000円

▼敷金 使用料の3カ月分

▼設備 オール電化/システムキッチン/エアコン/各戸専用物置/エレベーター

▼その他 駐車場は民間事業者と別途契約。入居は令和9年9月まで。また、持ち家がある場合や税金の滞納がある場合は入居できませんのでご注意ください。

なお、申し込み資格や必要書類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

■問い合わせ先 都市計画課(☎34-3233、Eメール toshikeikaku@city.hirosaki.lg.jp)



認定書を
発行します

要介護認定高齢者の障害者控除

65歳以上で、要介護認定を受けている人を対象に、「障害者控除対象者認定書」を発行しています。この認定書により、身体障害者手帳などの交付を受けていなくても、本人または扶養している親族は、個人住民税および所得税の障害者控除を受けることができます。

なお、個人住民税と所得税が課税されない場合は、控除申告の必要はありません。

▼対象者および控除区分 ①要介護1～3の人…

障害者/②要介護4～5の人…特別障害者(認定書は当日交付します)

▼申請に必要なもの 申請者の印鑑
※原則として本人または扶養者が申請してください。

■問い合わせ先 介護福祉課(市役所1階、☎40-7114)/岩木総合支所民生課(岩木庁舎1階、☎82-1628)/相馬総合支所民生課(相馬庁舎内、☎84-2113)

購入期限の
確認を

弘前市プレミアム付商品券の購入期間のお知らせ

弘前市プレミアム付商品券の購入期間は2月28日までです。期間以降の購入はできませんので、ご注意ください。

▼販売場所 市内郵便局(簡易郵便局を除く)

※2月15日(土)・16日(日)のみ市役所市民防災館4階会議室でも販売します。

▼購入に必要なもの 商品券購入引換券(引換券の申請は終了しました)、本人確認書類

※購入引換券の申請は2月27日で終了してい

ます。
※代理で購入も可能ですが、その際は対象者との関係と代理人の本人確認を行います。

▼販売額 1冊4,000円

※商品券の額面は、1冊5,000円(500円券×10枚つづり)引換券1枚につき5冊まで。分割でも購入可。

▼商品券使用期限 3月31日(火)

■問い合わせ先 福祉総務課(☎40-4630)

対象者は
忘れずに申請を

後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

【後期高齢者医療・高額介護合算療養費支給申請】

▼**支給対象者** 後期高齢者医療制度に加入し、医療保険と介護保険の自己負担額の両方の支払いをしている人（世帯内に対象者が複数いる場合は、世帯で合算）

▼**計算対象期間** 平成30年8月1日から令和元年7月31日まで

▼**支給額** 医療保険と介護保険の自己負担額の合計が、所得区分に応じた額（下表参照）を超えた場合に、その超えた分が支給されます。ただし、超えた額が500円以下の場合には支給対象となりません。

所得区分	自己負担限度額
現役並み所得Ⅲ	212万円
現役並み所得Ⅱ	141万円
現役並み所得Ⅰ	67万円
一般	56万円
低所得Ⅱ	31万円
低所得Ⅰ	19万円

低所得Ⅱ…世帯員全員が住民税非課税の人

低所得Ⅰ…世帯員全員が住民税非課税の人のうち、世帯員全員の各所得金額が0円の人

※自己負担額は、支払った額から高額療養費や高額介護（予防）サービス費を除いた額です。

▼**支給申請** 支給の要件に該当すると思われる世帯には、2月下旬（予定）に青森県後期高齢者医療広域連合から「支給申請のお知らせ」を送付します。また、対象期間の途中に後期高齢者医療制度に加入・転入した人などがいる世帯には、支給対象でもお知らせが送付されない場合がありますので、対象になるとと思われる人は問い合わせを。

▼**申請に必要なもの** 支給申請書／高額介護合算

療養費・高額医療合算介護（予防）サービス費の支給申請について（お知らせ）／個人番号（マイナンバー）がわかるもの（通知カードまたは個人番号カード）／本人確認書類（官公庁発行、発給の顔写真付き身分証明書など）／印鑑（認印）／通帳（コピー可）など、口座情報のわかるもの
※被保険者が亡くなっている場合は、受領申立書の提出が必要です（事前に提出した場合は不要）。／被保険者以外の方が申請または受領する場合は、委任状および被保険者の個人番号がわかるもの（コピー可）、申請者の本人確認書類などが必要です。詳しくはお問い合わせください。／重度心身障がい者医療費の助成を受けている場合は、市町村へ受領を委任する委任状が必要です。／対象期間中に青森県後期高齢者医療以外の医療保険や他市町村の介護保険に加入し、自己負担額がある場合、それらの自己負担額証明書が必要です。／成年後見人が申請する場合は、3カ月以内に発行された登記事項証明書をお持ちください。

【医療費通知について】

医療費通知を確定申告に活用できるようになりました。青森県後期高齢者広域連合から送付される医療費通知には自己負担相当分を記載し、確定申告時の医療費控除に活用できるようになっています。なお、対象となる期間が平成31年1月から令和元年12月までの診療分ですので、通知書が手元に届くのは令和2年2月末頃となります。

■**問い合わせ先** 支給申請について…国保年金課 後期高齢者医療係（☎40-7046）、医療費通知について…青森県後期高齢者医療広域連合（☎017-721-3821）

弘前っ子の作品 Vol.10

平成30年度弘前地区小・中学校美術展で受賞した作品を広報ひろさきで10回に分けて紹介します。子どもたちの夢、楽しい思い出、豊かな心をご覧ください。

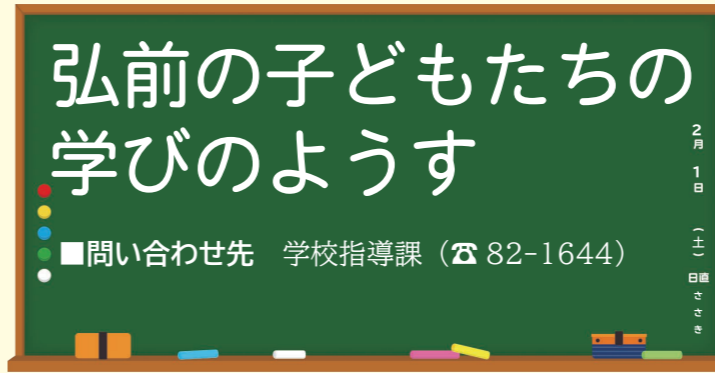
■**問い合わせ先**
教育センター
(☎26-4803)

突然、雪の中に突っ込んでしまい「いったいどこにいたんだろう。」と怖くなりました。



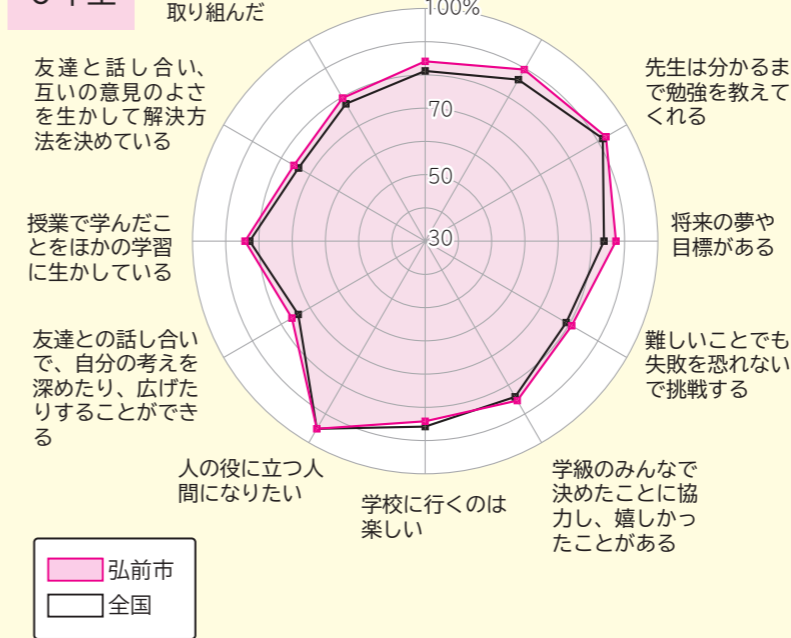
▲成田 有輝 さん
(城東小学校)

タイトル わあ、助けて! ▶



小学校 6年生

5年生までに受けた授業では、課題について自分で考え、自分から取り組んだ
自分にはよいところがある
先生がよいところを認めてくれる



「自分にはよいところがある」や「先生がよいところを認めてくれる」が全国を上回っている。

子どもたちは学校生活の中で、共感的な人間関係のもと、安心して過ごすことができているといえます。

「学校に行くのは楽しい」が、小学校では全国よりも下回っている。

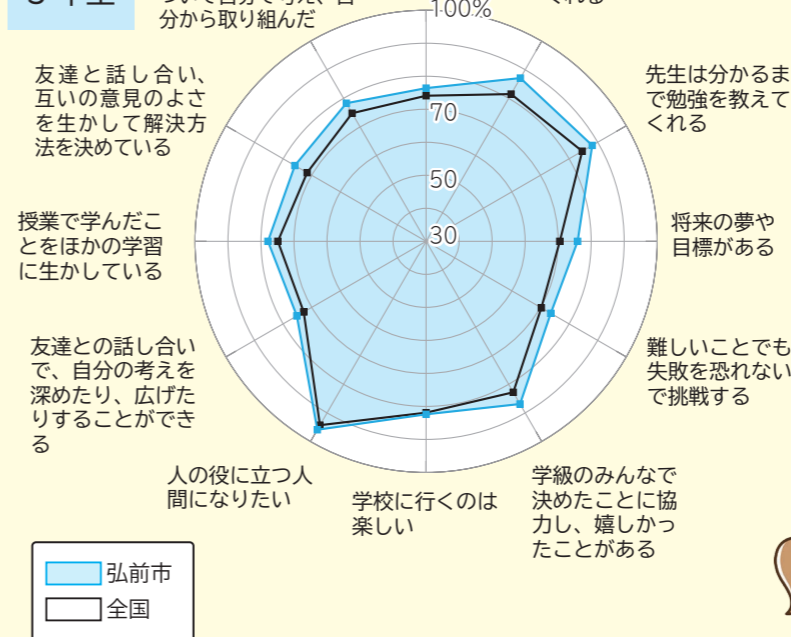
子どもたち一人一人が、成就感や達成感を味わい、自分の居場所を感じることができる学校づくりに努めています。

「友達との話し合いで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」や、「友達と話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」が小・中学校ともに全国を上回っている。

子どもたちが自分の意見や考えをもって話し合う場面が増えてきたことで互いの意見を理解し合い、折り合いを付けたり、意思決定したりする活動ができてきたといえます。

中学校 3年生

1、2年生のときに受けた授業では、課題について自分で考え、自分から取り組んだ
自分にはよいところがある
先生がよいところを認めてくれる



市教育委員会では、『子どもの声・意識調査』に基づく魅力ある学校づくりプラン」を柱に、みんなが安心して過ごせる集団づくりの充実を基盤として、一人一人の居場所を大切に、学び合う授業づくりを推進していきます。



項目の詳しい情報は市ホームページをご覧ください。

手続きは
お早めに

令和2年4月 認定こども園・保育所利用希望者の追加受け付け

市内の保育施設のうち、令和2年4月からの認定こども園・保育所（2号・3号認定）の利用申し込みは12月27日に受け付けを終了しましたが、定員に空きが生じる施設について追加の申し込み受け付けを行います。申し込み方法について、詳しくは市ホームページをご覧ください。

なお、認定こども園・幼稚園の教育利用（1号認定）、認可外保育施設、企業主導型保育施設については、施設への申し込みとなりますので、直接施設にお問い合わせください。

▼とき 2月3日～14日の午前8時30分～午後5時（いずれも平日）

▼ところ こども家庭課保育係、岩木総合支所民生課健康福祉係、相馬総合支所民生課健康福祉係 ※希望する施設に申し込みをしても定員に空きがない場合は4月からの利用はできません。／書類に不備がある場合は受け付けできない場合がありますので、早めの施設見学と申し込みを。

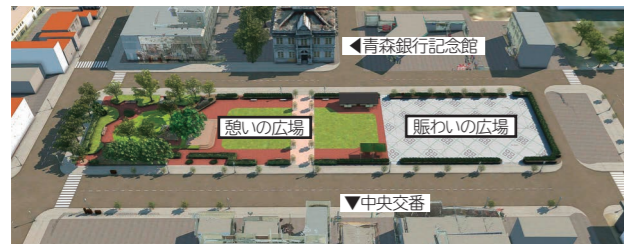
■問い合わせ先 こども家庭課保育係（市役所1階、☎35-1131）

ぜひ
ご利用ください

弘前市民中央広場の開放

4月1日から新しくなった弘前市民中央広場が各種行事や催しの会場として使用（有料）できるほか、入場制限がないときは誰もがくつろげる広場として開放します。

▼施設 憩いの広場（芝生広場）、賑わいの広場（こぎん刺しを模した広場）、トイレ、東屋、ベンチ、



▲全景（整備イメージ図）

ステージ、イベント用電源など

【令和2年度広場使用受け付け】

申し込みの際は、催しの名称・内容などを明確にしておいてください。なお、公共団体などの行事が予定されている日は使用できません。

▼仮申し込みの受け付け 2月3日～28日の平日、午前8時30分～午後5時に、都市計画課窓口で受け付け

※重複した場合は調整します。

▼一般受け付け 3月16日の午前8時30分から先着順で、窓口または電話で受け付け

■問い合わせ先 都市計画課（市役所3階、☎34-3219）

鳥インフルエンザの発生を防止しましょう

鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥によって海外から持ち込まれると考えられています。秋から冬は渡りが始まり、本病発生の警戒が必要となる時期ですので、次のことにご注意ください。

■問い合わせ先 つがる家畜保健衛生所（☎0173-42-2276）／中南地域県民局地域農林水産部林業振興課（☎33-3857）／農政課（☎40-0504）

【家さん（※）を飼っている場合】

①渡り鳥や野鳥との接触を避けるため、野外での放し飼いをしないようにしましょう。また、飼育小屋は防鳥ネット（2cm角以下）で囲い、野鳥が入らないようにしましょう。／②飼育小屋を定期的に消毒し、清潔な状態で飼育しましょう。／③世話をするときには、専用の履物や衣服を身に付け、終了後は履物、衣服、手指の消毒をしましょう。／④家さんの死亡が続くなど異常がみられた場合は、すぐにつがる家畜保健

衛生所に連絡してください。

※家さん…（家畜として飼育されている）鶏、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥、七面鳥などの鳥類。

【死亡した野鳥を見つけた場合】

①素手では触らないようにしましょう。／②多数の野鳥がまとまって死亡している場合は、ご相談ください。／③②以外の場合で死亡した野鳥を処理する際は、ビニール袋に入れ一般ごみとして処分してください。

経費の一部を
補助します

令和2年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金の公募開始

市では、農業者が農作業の省力化・効率化を図るために行う、農業機械の導入や、ほ場内での荷さばき場や作業道の整備にかかる経費の一部を支援します。

▼公募期間 2月3日～3月2日

▼対象者 市内に住所を有する農業者

▼事業内容 ①農業機械導入支援事業／②集出荷環境整備支援事業

▼補助対象経費 ①農業経営に要する機械の導入にかかる経費／②ほ場内での荷さばき場や作業道の整備（コンクリート化等）にかかる経費

▼補助率・補助限度額 補助対象経費の実支出額

の3分の1に相当する額（上限：①50万円、②23万円）

▼その他 採択要件ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した申請者を優先して採択します（採択方法が変わりました）。その他、提出書類や詳しい要件等については、問い合わせを。

※この事業に関する予算については、3月に行われる定例市議会で審議されます。予算案の可決をもって事業を実施します。

■問い合わせ・応募先 農政課（①の事業…☎40-0767、②の事業…☎40-7102）

令和2年度 弘前市出前講座

出前講座ってなに？

市の職員が皆さんの自主的な学習会などに出向き、市の制度や取り組みなどを分かりやすく説明します。

4月から次の2講座を追加し、全92講座となりますので、ぜひご利用ください。

■新メニュー

講座名	生活困窮者自立支援制度について	弘前市地域福祉計画について
内容	生活困窮者が生活保護受給に至らないようにするために、ひろさき生活・仕事応援センターが行っている自立支援策を紹介	弘前市地域福祉計画の内容について
担当課	生活福祉課就労自立支援室	福祉総務課
分野	健康・福祉	健康・福祉
時間目安	60分～90分	60分
対象	一般（高校生以上）	一般（高校生以上）

誰でも利用できるの？利用料は？

市内に在住、または通勤・通学する5人以上のグループなら、誰でも利用できます。ただし、営利活動を目的とした催しなど、出前講座の趣旨に反する場合は利用できないこともあります。なお、利用料は無料です。

利用日と時間は？

年末年始（12月29日～1月3日）を除く、午前9時～午後9時の2時間以内。土・日曜日、祝日も可。

会場の準備などは？

会場は弘前市内とし、受講を希望するグループで用意してください。

申し込み方法は？

利用申込書に必要事項を記入し、利用希望日の1カ月前までに広聴広報課へ。ファクス、Eメール、郵便での申し込みも可。
※Eメールで申し込みの際は、件名に「出前講座」と記入してください。
※出前講座のパンフレットおよび利用申込書は、広聴広報課窓口のほか、岩木・相馬の各総合支所、各出張所などにも用意しています。また、市ホームページからダウンロードできます。

■問い合わせ・申込先 広聴広報課（市役所2階、☎036-8551、上白銀町1の1、☎35-1194、ファクス35-0080、Eメールkochokoho@city.hirosaki.lg.jp）



▲出前講座の様子

懐かしの風景

—あの場所はいま—

弘前の懐かしい建物やまちの風景を毎月紹介します。その場所が今どのように変化したのか、皆さんもぜひ探ってみてください。

■問い合わせ先 文化財課 (☎ 82-1642)



▲昭和30年(1955)頃

松森町・土手町と弘前駅を結ぶ町として、さまざまな商店が立ち並んでいました。今は見かけられなくなったボンネットバスや三輪自動車が走る様子が時代を感じさせます。



▲現在

現在もショッピングビルなどさまざまな商業施設が立ち並び、バスが走っています。広がった道路には街路樹が植えられ、電線が地中化されています。

令和2年4月11日開館！！

弘前れんが
倉庫美術館
アート通信

第3回
開館記念第1弾の
展覧会！

■問い合わせ先 吉野町緑地整備推進室 (☎ 40-7123)

弘前れんが倉庫美術館は、明治・大正時代に建てられた煉瓦の建物を改修した芸術文化施設です。もともこの場所にあった壁や柱、はりなどをできる限り残した特徴的な展示室では、年2回大きな展覧会を開催します。美術館のオープンと同時に始まる最初の展覧会「Thank You Memory - 醸造から創造へ-」では、国内外から8人のアーティストが参加し、弘前の文化や歴史、風景から着想を得てつくる新作を中心に展示します。

フランス出身のジャン＝ミシェル・オトニエルさんは、りんごやシードルにインスピレーションを得たガラスの彫刻を発表。タイ出身のナウイン・ラワンチャイクンさんは、これまでたびたび弘前に足を運び、30人以上の市民へのインタビューをもとに大型の絵画と映像作品に挑みます。中国出身のイン・シウジェンさんは、市民の皆さまから提供された100着に及ぶ古着を素材に弘前の街の姿をつくる立体作品を展

示します。また、奈良美智さんによる《A to Z Memorial Dog》を約2年ぶりに再掲示のほか、近年取り組んでいる写真作品を紹介します。今年4月に美術館でご覧いただくアーティストたちの新しい作品にご期待ください。

◎展覧会概要◎

Thank You Memory - 醸造から創造へ -

▼とき 4月11日(土)～8月31日(月)の午前9時～午後5時

▼参加アーティスト イン・シウジェンさん、ジャン＝ミシェル・オトニエルさん、笹本晃さん、畠山直哉さん、藤井光さん、奈良美智さん、ナウイン・ラワンチャイクンさん、潘逸舟さん

▼観覧料 一般 1,300円(1,200円) 大学生・専門学校生 1,000円(900円)

※()内は20人以上の団体料金。

※障がい者、65歳以上の市民、高校生以下の人、外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を。

▼休館日 火曜日(祝日の場合は翌日に振替)

※ただし4月28日、8月4日は開館。



▲ナウイン・ラワンチャイクンさんのインタビューの様子

地域おこし協力隊の活動報告 File.11

地域活性化のために日々活動している「地域おこし協力隊」の隊員の活動を毎月紹介します。

■問い合わせ先 企画課 (☎ 40-0632)

昨年1月にNext Commons Lab 弘前(ネクストコモンズラボヒロサキ)のワインプロジェクトに着任し、ほぼ四半世紀ぶりに弘前へUターンしました。それまでは都内のワインショップに勤めていましたが、生まれ育った弘前で、大好きなワインに関わるプロジェクトの募集ということで「これはチャレンジしたい!」と思い応募しました。

活動初年度は主に弘前市の「ファットリア・ダ・サスィーノ」で醸造用ブドウの栽培とワイン醸造について学びました。今までワインに関わる仕事はしていましたが、畑での作業や醸造についてはほとんど知識も経験もなかったため、大変でしたが、とても刺激的で有意義な毎日でした。

こちらでは既に醸造用のブドウ品種から数種類の弘前産ワインが造られており、どれも世界的に評価される可能性をもつ素晴らしいワインです。私自身もこの弘前の地で自分の育てたブドウからワインを造りたいと思っています。

活動2年目となる今年は、ワイン造りの勉強



活動を始めて約1年。これまでを振り返りながら地域づくりへの思いをつづります。



Next Commons Lab 弘前
ワインプロジェクトメンバー
永田朗麻さん
(ソムリエ・SAKE DIPLOMA・シードルアンバサダー)
(弘前市出身)

を続けるとともに、ワインに関するイベントやセミナーにも本格的に取り組んでいきます。3月からは「ゼロからはじめる愉しむワイン」と題して、実際にワインを飲みながら、楽しみ方や知識を学べる講座(全5回を予定)を開催します。プロの講師を招き、テーマを毎回変えて開催するので、通しではもちろん、1回だけでも楽しめる内容となります。ぜひご参加ください!

弘前はお酒好きな人がとても多い街だと感じています。活動を通してさらにワインの楽しさを広めていきたいと思っています。



ひろさきローカルベンチャー報告会



Next Commons Lab 弘前では、教育やりんご、シードル、ゲストハウス、アートといった分野でメンバーが意欲的に活動中です。これまでの経歴もさまざまな個性あふれる魅力的なメンバーがそろっています。メンバーがどのような活動をしているのかを紹介する報告会を開催します。申し込み不要ですので、お気軽にお越しください。

▼とき 3月8日(日)、午後1時～

▼ところ HIROSAKI ORANDO(百石町47の2)

■問い合わせ先 HIROSAKI ORANDO (☎ 40-3950)

外崎修汰選手ファンミーティング



12月26日 市民体育館（五十石町）

当 市出身のプロ野球選手である埼玉西武ライオンズ所属の外崎修汰選手と、少年野球チームやファンとの交流会が開かれました。参加した子どもたちは、外崎選手からの「正確にプレーすることが一番大切」というアドバイスに、真剣な表情で聞き入っていました。

車座ふるさとトーク



12月13日 弘前大学教育学部附属中学校（学園町）

宮 下一郎内閣府副大臣（金融担当）と、地域住民が、「これからの『お金』の教育」をテーマに対話をしました。学生、保護者、教育関係者など、それぞれの視点から意見を交わしました。

弘前子ども議会



12月25日 市議会議場

市 内56人の小・中学生が、「誰もが安心して、楽しく過ごせる『街＝弘前』とは」について議論しました。「『人とのつながり』を大切にしたい」などの意見が出されていました。

みんなでプログラミング体験！



12月28日 ヒロコ（駅前町）イベントスペース

東 北女子大学児童学科の学生が講師となり、プログラミングをしてロボットを動かす体験教室が開かれました。子どもたちは、思い通りにロボットが動くと、嬉しそうに歓声を上げていました。

弘前市・西目屋村消防団出初式



1月13日 土手町通り

消 防団員が「災害のない安全なまち」を目指し、士気を高めました。迫力のあるまとい振りや勇壮な分列行進などが披露され、たくさんの観客が集まりました。

もっともっと♡弘前！

reported by
ひろ♡レポ
Hirosaki♡Reporters

今月の
テーマ♡

弘前市ごみ収集アプリを活用しよう！！

こんにちは！ひろ♡レポです。2月になり、まだまだ寒い日が続いていますね♪今回は、便利で手軽に活用できるごみ収集アプリについて紹介します！

弘前市ごみ収集アプリってなに？

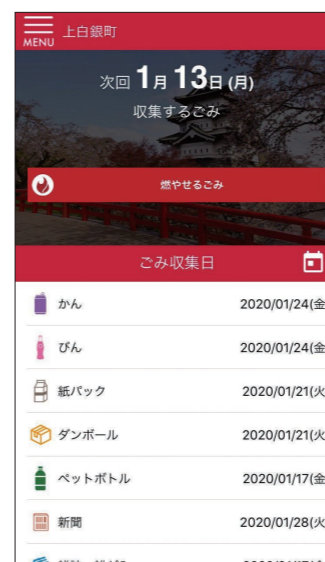
弘前市のごみの分別に関する情報を公開しているアプリで、ごみの分別の検索ができたり、ごみの収集日や分別区分を通知してくれます。

アプリは、右記のQRコードからダウンロードできます。
※ダウンロードには通信料がかかります。（利用は無料）



どんな機能があるの？

▼住所を登録するとトップ画面に収集日が表示されます



▼ごみの分別がわからない時は検索もできます



▼リサイクルする時は資源物回収拠点マップをチェック



環境課職員も使っています！



環境課廃棄物政策係 石岡さん

イチオシは資源物回収拠点マップです。買い物へ行く前にマップを確認し、置き場に困るペットボトルなどをスーパーへ持ち込んでいます。回収拠点によっては、仕事終わりや休日に持ち込めるので大変助かっています。

ほかにも、ごみ収集日の通知やごみ分別の検索などの機能を無料で使うことができ、操作も簡単なので、家族にも大変好評です。ごみ出しに関する困りごとはこのアプリでほぼ解決できますので、スマートフォンをお持ちであれば、ぜひ一度お試しください！

編集後記

誤った分別は、ごみ処理にかかる費用の増加や環境破壊につながります。また、再利用できる資源はリサイクルにまわすことも大切です。皆さんもごみの分別やリサイクルを積極的に行いましょう（^^）なお、本アプリに関するお問い合わせは、環境課（☎32-1969）へ。

イベント

ふうふふたり展

- ▼とき 2月1日～11日の午前9時～午後4時
- ▼ところ 鳴海要記念陶房館(賀田字大浦)
- ▼内容 村上文憲さんと村上トシさんによる彫刻と水彩画の展示・販売
- ▼入場料 無料
- 鳴海要記念陶房館(☎ 82-2902、火曜日は休み)

弘前交響楽団 第32回定期演奏会

- ▼とき 2月9日(日)、午後2時～(午後1時30分開場)
- ▼ところ 市民会館(下白銀町)大ホール
- ▼演奏曲目 悲劇的序曲(ブラームス作曲) / 交響曲第4番ニ短調(シューマン作曲) など
- ▼指揮者 松井慶太さん
- ▼入場料(全席自由) 一般=1,000円 / 高校生以下=500円
- ▼チケット取扱所 市民会館 / 弘前文化センター / ヒロロ / ま

ちなか情報センター / 中三弘前店 / さくら野弘前店 / さくらミュージック
※無料託児室あり(予約不要)。
●弘前交響楽団事務局(古川さん、☎ 090-3121-8401)

第30回弘前らん展

- 洋蘭・セッコク合わせて約300株を展示します。
- ▼とき 2月7日～9日の午前10時～午後4時
- ▼ところ さくら野弘前店(城東北3丁目)4階文化ホール
- ▼入場料 無料
- 弘前城愛蘭会(対馬さん、☎ 27-5442)

弘前工芸舎・冬限定企画展 「冬に花咲く工芸展」

- ▼とき 2月8日～16日の午前10時～午後4時
- ▼ところ 藤田記念庭園考古館(上白銀町)2階ギャラリースペース
- ▼内容 工芸品の展示・販売
- ▼入場料 無料
- 産業界育成課(☎ 32-8106)

パンフェスタ&ママフェスタ

市内外のパン屋さんがヒロロスクエアに集合! ママサークルによるハンドメイド作品の展示販売、製作体験が楽しめるママ

フェスタも同時開催します。
▼とき 2月15日(土)、午前10時～午後2時
▼ところ ヒロロ(駅前町)3階イベントスペース
▼入場料 無料(ワークショップなど一部有料)
▼その他 800円で参加店のパンの食べ比べ(数量限定)ができます(時間は午前11時～、正午～、午後1時～で、2月2日～11日に、ヒロロ3階市民文化交流館受付窓口で販売される食券が必要(先着順))。
●ヒロロスクエア賑わい創出委員会事務局(市民文化交流館内、☎ 35-0154、午前8時30分～午後9時)

harappa 映画館「ドキュメンタリー2020 - 憲法映画祭」

- ▼とき 2月15日(土)
※時間や上映作品など、詳しくはホームページを確認を。
- ▼ところ 中三弘前店(土手町)8階スペースアストロ
- ▼入場料 前売り=1,000円(1回券)、2,500円(3回券) / 当日=1,200円(1回券)、学生=500円(1回券)
※1作品ごとに1回券が1枚必要。
- ▼チケット取扱所 中三弘前店 / まちなか情報センター / 弘大生協 / コトリ cafe(百石町展示館内)

● harappa 事務局(☎ 31-0195、H https://harappa-h.org、平日の午前9時～午後5時)
※平成31年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

こどもの森2月の催し

- 【月例登山「行けるとこまで行ってみよ!」】
- ▼とき 2月16日(日)、午前9時30分～午後2時30分
- ▼対象 登山経験があり、冬山登山の装備で参加できる人
- ▼参加料 無料
※事前の申し込みが必要。
- ▼持ち物 飲み物、昼食、タオル、替えの下着・靴下、雨具、防寒着
- ▼冬季開館日 土・日曜日と祝日、小・中学校の春休み期間
- こどもの森ビジターセンター(坂元字山元、久渡寺境内、☎ 88-3923) / 市みどりの協会(☎ 33-8733)

実業高校デザイン角巻展示会

- 弘前実業高校服飾デザイン科3年生と企業とのコラボで制作した角巻を発表展示します。
- ▼とき 2月20日～24日の午前9時～午後5時
- ▼ところ 直売所野市里(ANEKKO)〈宮地字川添〉
- ▼入場料 無料
- 岩木山観光協会(☎ 83-3000)

第45回生活技術発表展

- ▼とき 2月21日(金)、午前11時～午後2時30分
- ▼ところ ヒロロ(駅前町)3階イベントスペース
- ▼内容 防災食の展示や調理実演・試食 / 農村の暮らしを楽しむ

む活動や農産物・加工品の紹介 / 講演「防災の基礎知識」
▼入場料 無料
●中津地域県民局地域農林水産部農業普及振興室(鈴木さん、☎ 33-4821)

高岡の森弘前藩歴史館 第4回ロビーコンサート

- ▼とき 2月22日(土)、午後2時30分～3時30分
- ▼内容 薩摩琵琶の弾き語りと錦風流尺八の演奏
- ▼出演 平尾鶴朋さん
- ▼定員 30人
- ▼参加料 無料(観覧料は必要)
※事前の申し込みは不要。
- 高岡の森弘前藩歴史館(高岡字獅子沢、☎ 83-3110)

第7回大漁食堂

- ホテルシェフが織りなすさまざまな「白神の魚」料理をお楽しみください。
- ▼とき 2月26日(水)、午後6時30分～(午後6時開場)
- ▼ところ ホテルニューキャッスル(上鞆師町)
- ▼入場券(前売りのみ) 7,000円
- ▼入場券取扱所 ホテルニューキャッスル、TEKUTEKU編集部
- 白神の魚普及実行委員会事務局(TEKUTEKU編集部内、☎ 31-2136)

令和元年度地域未来創生センターフォーラム

- 【「地域未来創生センターの挑戦」人文社会科学系アプローチの課題と可能性】
- ▼とき 2月28日(金) 午後6時～8時30分
- ▼ところ 市民文化交流館ホー

ル(駅前町、ヒロロ4階)
▼内容 ①講演…講師・田中則雄さん(島根大学法文学部長)、豊福裕二さん(三重大学人文学部副学部長) / ②取り組みの紹介 / ③パネルディスカッション
▼定員 100人
▼参加料 無料
※事前の申し込みは不要。
●弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター(☎ 39-3198、平日の午前10時15分～午後5時)

プラネタリウム [弘前文化センター]

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

- …一般投影を午後1時30分～、午後3時～の2回投影
- …一般投影を午前10時30分～、午後1時30分～、午後3時～の3回投影
- …わくわく☆子どもプラネを午前10時30分～の1回、一般投影を午後1時30分～、午後3時～の2回投影
- …休み
- ★投影プログラム
- 【一般投影 / 45分間】
- ▼テーマ 冬のダイヤモンド
- ▼観覧料 一般=250円 / 小・中学生、高校生=120円
※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を。
- 【わくわく☆子どもプラネ / 30分間】
- ▼テーマ 冬の星座と星雲・星団
- ▼観覧料 無料
- 中央公民館(☎ 33-6561、火曜日は休み)

2月の投影日程

弘前市青年交流会 「農業ガールとティータイム」

台湾発祥のタピオカミルクティーと香港風エッグワッフルを作りながら交流をしませんか。

▼とき 2月29日(土)
午後3時～6時

▼ところ 弘前文化センター(下白銀町)調理実習室

▼講師 タピオカ専門店「スマイルティー」スタッフ

▼対象 おおむね25歳～45歳の独身者(女性は弘前市在住で農業に従事または農業の手伝いをしている人、男性は農業に関心がある人)＝男女各6人

▼参加料 800円

▼持ち物 エプロン、三角巾(バンドナなど)

☎2月19日までに、電話かEメールで、弘前市青年交流会実行委員会事務局(農業委員会事務局内、☎40-7104、E nougyou@city.hirosaki.lg.jp)へ。

弘前医療福祉大学短期大学部 県産食材を使った料理作品展

▼とき 2月29日(土)、午前11時30分～午後3時

▼ところ 土手町コミュニケーションプラザ1階多目的ホールAエリア

▼内容 学生考案の日本・西洋・中国料理のコースメニュー展示や「アレンジけの汁」の試食提供(なくなり次第終了)など

▼入場料 無料

☎弘前医療福祉大学短期大学部別科調理師養成・1年課程(☎27-1001)

弘前れんが倉庫美術館 建物内覧会

開館に先駆け、展示空間や貸しスタジオなどをご覧いただけます。

▼とき 3月7日(土)
午前10時～正午

▼ところ 弘前れんが倉庫美術

館整備用地(吉野町)

▼定員 50人(先着順)

▼参加料 無料

▼その他 来館の際は、近隣の有料駐車場か公共交通機関をご利用ください。

☎2月3日～21日に、電話かEメール(氏名・電話番号を記入)で、吉野町緑地整備推進室(☎40-7123、E yoshino@city.hirosaki.lg.jp)へ。

弘前文化センター自主事業 大谷慶一講演会

【改めて思い起こす東日本大震災のことⅢ～自分の命を守るために…～】

いわき語り部の会会員として全国で講演活動を行っている大谷さんの講演会です。

▼とき 3月14日(土)
午後2時～

▼ところ 弘前文化センター(下白銀町)大会議室

▼定員 200人

▼入場料 無料(整理券が必要)

弘前観桜会 100 回記念 & FM アップルウェーブ開局 20 周年記念 弘前観桜会 100 回記念曲「百年桜」発売記念 吉幾三コンサート

▼とき 4月29日(水・祝)、昼の部…午後2時～(午後1時30分開場) / 夜の部…午後6時～(午後5時30分開場)

▼ところ 市民会館(下白銀町)大ホール

▼入場料 前売り券(全席指定)＝7,700円(当日は500円増/前売り券が完売した場合、当日券はありません)

※夜の部公演に限り、65歳以上の人が対象のシニア優待席有り。数量限定4,400円。2月2日の午前10時から、市民会館窓口のみで販売(一般チケットは好評発売中)。年齢を確認できる身分証の提示を。/未就学児入場不可。

▼チケット取扱所 市民会館/弘前文化センター/さくら野弘前店/さくら野青森店/吉幾三コレクションミュージアム/ELMインフォメーション/ローソンチケット(Lコード:22513)

▼その他 4月29日全国発売の吉幾三書き下ろし、弘前観桜会100回記念曲「百年桜」CD(カップリング:「白神が故郷アコースティックVer.」)1枚を、コンサート来場者へプレゼントします。

☎市民会館(☎32-3374、第3月曜日は休み) / アップルウェーブ(☎38-0788)



▼整理券配布所 弘前文化センター/市民会館/総合学習センター

☎弘前文化センター(☎33-6571、第3火曜日は休み)

弘前法人会「新春講演会」

▼とき 3月4日(水)
午後3時30分～5時

▼ところ フォルトーナ(和徳町)

▼テーマ 常勝チームを作った最強のリーダー学

▼講師 黒田剛さん(青森山田高校サッカー部監督)

▼定員 200人(先着順)

▼入場料 無料

※事前の申し込みが必要。

☎弘前法人会(☎36-8274、E hojinkai@jomon.ne.jp、平日の午前9時～午後5時)

岩木文化センター自主事業 「White Explosion スペシャルライブ」

6人組ダンス&ボーカルグループ、北海道発!次世代型オールラウンダー「White Explosion」(通称ホワエク)によるスペシャルライブです。

▼とき 3月28日(土)、午後2時～(午後1時30分開場)

▼ところ 岩木文化センター「あそべる」(賀田1丁目)

▼入場料 500円

▼チケット取扱所 さくら野弘前店/まちなか情報センター/中央公民館岩木館

☎中央公民館岩木館(☎82-3214)

藤田記念庭園 冬季開園

▼とき 4月上旬までの午前9時～午後5時

▼ところ 洋館(大正浪漫喫茶室、藤田謙一資料室、会議室) / 匠館

(クラフト展、和カフェ) / 庭園一部エリア(高台部)のみ

▼入園料 無料(会議室は有料)

☎藤田記念庭園(上白銀町、☎37-5525)

教室・講座

弘前版生涯活躍のまち地域貢献モデル構築事業のお知らせ

【弘前歴史講座「築城当時の弘前」】

▼とき 2月15日(土)
午後2時～3時

▼講師 中谷敏右さん(弘前観光ボランティアガイドの会顧問)

▼参加料 無料

▼申込期限 2月14日

【「食べる+学ぶ+触れる」弘前体験会@サンタハウス弘前公園】

▼とき 2月22日(土)
正午～午後3時

▼内容 ①津軽の伝承料理(食事付「津軽あかつきの会」) / ②こぎん研究所によるこぎん講座 / ③こぎん刺し体験

▼参加料 1,000円

▼申込期限 2月17日
～共通事項～

▼ところ サンタハウス弘前公園(元大工町)

▼対象 50歳以上の市民＝20人

☎電話かEメールで、サンタハウス弘前公園(阿保さん、☎88-7707、E santa-kouen@gaea.ocn.ne.jp)へ。

弘前地区環境整備センター プラザ棟の催し

【空気で遊ぼう!】

▼とき 2月22日(土)、午前10時～正午 / 午後1時～3時

▼内容 ペットボトルロケット

を作って飛ばそう / ダンボールエアホッケーを作って遊ぼう
※他にも楽しい実験あり。

▼講師 福田智好さん(弘前市少年少女発明クラブ会長)

▼定員 各回20組(小学生以下は保護者同伴)

▼受け付け開始 2月9日～
【小枝のお雛さま作り教室】

せん定した小枝でお雛さま作りと不用になった畳で敷き物を作ってみませんか。

▼とき 2月29日(土)、午前9時30分～11時30分

▼講師 尾崎行雄さん

▼対象 小学校5年生以上＝15人(小学生は保護者同伴)

▼受け付け開始 2月16日～
～共通事項～

▼参加料 無料

☎弘前地区環境整備センタープラザ棟(町田字筒井、☎36-3388、午前9時～午後4時、月曜日<月曜日が祝日の場合は翌日>は休み)

緑の相談所

2月の催し

【展示会】

●ツバキ展

7日(金)～16日(日)

【講習会】

●園芸用土と肥料の話

15日(土)、午後1時30分～3時30分

●デンドロビウムとセッコクの植え替え

22日(土)、午後1時30分～3時30分

～共通事項～

▼参加料 無料

▼休館日 3日・12日・17日・25日

☎緑の相談所(☎33-8737、午前9時～午後5時<8～11日は午後9時まで>)

シニア生活産業ビジネスセミナー

- ▼とき 2月8日(土) 午前10時～正午
- ▼ところ 市民会館(下白銀町)2階会議室
- ▼対象 創業希望者、第二創業を検討する中小事業者、介護サービス事業者など=30人
- ▼参加料 無料
- ☎2月3日までに、県ホームページに掲載している申込用紙に記入し、ファクスかEメールで、青森県商工労働部地域産業課創業支援グループ(☎017-734-9374、F017-734-8107、Echiikisangyo@pref.aomori.lg.jp)へ。

新米パパ応援講座

- ▼とき 2月23日(日・祝)、午後1時30分～3時30分
- ▼ところ 弘前文化センター(下白銀町)2階第1・2和室
- ▼内容 子育ての実技体験/子育ての楽しさや悩みを共有する交流会など
- ▼講師 三崎直子さん(弘前大学大学院保健学研究科准教授)
- ▼対象 市内に在住、または通勤・通学している18歳以上の男性で、結婚・出産・育児について気になる人、結婚予定の人、現在育児中の人=10人(先着順)

※パートナー同伴を希望する人は相談を。

- ▼参加料 無料
- ☎2月22日までに、電話かファクスまたはEメール(住所〈町名まで〉、氏名〈ふりがな〉、年齢、電話番号、パートナー・子どもの有無〈年齢〉、子育てに関して気になることを記入)で、中央公民館(☎33-6561、F33-4490、Echuuoukou@city.hirosaki.lg.jp、火曜日は休み)へ。
- ※弘前大学との地域づくり連携事業。

お雛様アレンジフラワー教室

- ▼とき 2月22日(土) 午後1時～3時
- ▼ところ ワークトーク弘前(清野袋3丁目)
- ▼講師 川村江利子さん
- ▼定員 20人(先着順)
- ▼参加料 1,800円(材料費と保険料を含む)
- ※事前の申し込みが必要。
- ▼持ち物 花ばさみ(工作用でも可)、持ち帰り用袋
- ☎ワークトーク弘前(☎38-3711、月曜日と祝日は休み)

高齢者就労促進セミナー

- ▼とき 2月25日(火)、午後1時30分～4時30分
- ▼ところ 市民文化交流館ホー

- ル(駅前町、ヒロロ4階)
- ▼内容 高齢者雇用の先進的な取り組みや助成金についての講演、企業事例の発表
- ▼対象 企業経営者、人事労務担当の人など=50人
- ▼参加料 無料
- ☎ファクスかEメールで、I・M・S(☎32-5801、F88-6421、Esenior_work@ims-hirosaki.com)へ。

Word 2019 入門講座

- ▼とき 2月26日・3月4日・11日の午前10時～午後3時(3日間で1セットの講座です)
- ▼ところ 総合学習センター(末広4丁目)
- ▼内容 Word 2019を使用した基本的な操作技術の習得
- ▼対象 キーボード、マウス、Windowsの基本操作ができる市民=30人(先着順)
- ▼受講料 無料
- ▼持ち物 筆記用具、USBなどのメモリ、昼食
- ☎2月9日から、学習情報館(総合学習センター内、☎26-4800)へ。

令和元年度第3回歴史館講座

- ▼とき 3月15日(日) 午後2時～3時

- ▼ところ 高岡の森弘前藩歴史館(高岡字獅子沢)
- ▼テーマ 江戸時代の旅と仙台藩・弘前藩
- ▼講師 高橋陽一さん(宮城学院女子大学一般教育部准教授)
- ▼定員 30人(先着順)
- ▼参加料 無料(観覧料は必要)
- ▼その他 送迎バスを運行(行き=午後1時10分、市立観光館バスプール発/帰り=午後3時45分、歴史館発)。
- ※事前の申し込みが必要。
- ☎高岡の森弘前藩歴史館(☎83-3110、2月17日は休み)

公開講座「裁判官の仕事・検察官の仕事～青森県の刑事司法の実情を踏まえて～」

- ▼とき 2月29日(土) 午後2時～5時10分
- ▼ところ 市民会館(下白銀町)第1・2小会議室
- ▼内容 講演「青森県の裁判～裁判員裁判～」…講師・古玉正紀さん(青森地裁裁判官)/講演「検事の仕事、検察庁の役割」…講師・吉武恵美子さん(青森地検次席検事)
- ▼定員 50人
- ▼入場料 無料
- ※事前の申し込みは不要。
- ☎らの会(三上さん、☎38-1829)/弘前大学人文社会科学部(平野さん、☎39-3199)

その他

求人説明会・ミニ面接会

- 求職中であれば誰でも無料で参加でき、面接も可能です。
- ▼とき 2月7日(金)・18日(火)の午後1時30分～4時30分(受け付けは午後1時～)
- ▼ところ ヒロロ(駅前町)3階多世代交流室2
- ▼定員 20人程度
- ▼参加企業数 3～5社(予定)
- ※雇用保険受給資格者証の持参を。詳しくは、青森労働局または市のホームページを確認を。
- ☎I・M・S(弘前就労支援センター内、駅前町、ヒロロ3階、☎55-5608)

アライグマ被害防除対策講習会

- ▼とき 2月19日(水) 午前10時～正午
- ▼ところ 市民会館(下白銀町)大会議室
- ▼内容 アライグマの生態や被害防除、捕獲方法など
- ※受講した人は、狩猟免許がなくても箱わなを設置し、アライグマを捕獲できます。
- ▼定員 90人(先着順)
- ▼受講料 無料
- ☎2月12日までに、農政課(☎40-0504)へ。

農業者研修会

- 異常気象が農業に及ぼす影響(特にりんごと稲作)に関する情報提供の場を設けます。
- ▼とき 2月18日(火) 午後2時～3時15分
- ▼ところ 岩木文化センター「あそべる」(賀田1丁目)
- ▼講師 伊藤大雄さん(弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター教授)
- ▼参加料 無料
- ※事前の申し込みは不要。
- ☎農業委員会事務局(☎40-7104)

合同企業説明会

- ▼とき 3月5日(木) 午後0時50分～4時
- ▼ところ アートホテル弘前シティ(大町1丁目)プレミアホール
- ▼内容 県内外の企業等の人事担当者等による企業説明/職業適性診断コーナー/職業相談コーナー
- ▼参加企業 約50社
- ▼対象 令和3年3月卒業予定の大学生、短大生、専門学校生等/大学卒業3年以内の既卒者
- ▼参加料 無料
- ※事前の申し込みは不要。
- ☎ジョブカフェあおもり(☎017-731-1311)

河西体育センター室内温水プールの臨時休業について

施設・設備のメンテナンスのため、次の期間、室内温水プールを休場します。

- ▼とき 2月17日～3月1日
- ☎河西体育センター(石渡1丁目、☎38-3200)

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

夜間・休日納税相談

▼夜間納税相談 2月17日～21日の午後5時～7時30分

▼休日納税相談 2月23日の午前9時～午後4時

※特別な理由がなく、納付および連絡がない場合は、差し押さえ処分を執行することもあります。

☎収納課（市役所2階、☎40-7032、40-7033）

商品計量調査体験学習会

▼とき 3月7日（土）午後1時～4時

▼ところ ヒロロ（駅前町）3階多世代交流室2

▼内容 ①計量制度の説明／②量目商品の購入／③量目商品の計量調査

▼対象 18歳以上の市民＝10人（先着順）

▼申し込み方法 2月3日～28日に、電話か窓口で、申し込みを。

☎商工労政課（市役所5階、☎35-1135）

自動車の名義変更・廃車手続きおよび車検はお早めに！

例年3月は、名義変更や廃車、住所変更、車検などの手続きが集中し、運輸支局と事務所の窓

口は大変混雑します。待ち時間が少ない3月13日以前に手続きをするようにお願いします。また、車検（継続検査）は1カ月前から受けることができますので、早めに受検するようにお願いします。

ユーザー車検については、下記のインターネット検査予約システムなどにより検査予約を行ってください。

なお、軽自動車は「軽自動車検査協会」が手続き窓口になり、手続き方法などが違いますので、ご注意ください。

☎東北運輸局青森運輸支局（テレフオンサービス〈情報案内〉☎050-5540-2008）／自動車検査予約システム（H <http://www.yoyaku.naltec.go.jp>）／自動車検査予約ヘルプデスク（☎0570-030-330、平日の午前9時～午後6時）

弘前大学グリーンカレッジ 2020年度入校生（第5期生）募集

地域の皆さんの「学び直し」や学生と一緒にキャンパスライフを体験できます。

▼申し込み期間 2月17日～28日

※詳しくは弘前大学ホームページ（<https://www.hirosaki-u.ac.jp/research/green-college.html>）をご覧ください。

☎弘前大学学務部教務課教務企画担当（☎39-3709）

保育のお仕事出張相談会

▼とき 2月28日（金）午前10時～午後1時

▼ところ ヒロロ（駅前町）3階イベントスペース

▼内容 個別相談／県内の保育所・認定こども園等求人情報閲覧・紹介／保育者マナー講座・保育実技講座（各30分程度）

▼対象 保育に興味のある人

▼参加料 無料 ※事前の申し込みは不要。

☎青森県社会福祉協議会青森県保育士・保育所支援センター（☎017-718-2225）

赤十字活動にご協力を

昨年は自然災害が多発し、皆さんより災害義援金にたくさんのご協力をいただいています。

改めて日頃の防災・減災普及の重要性を強く感じ、講習会やボランティア活動を実施しました。

こうした活動はすべて、皆さんから寄せられた会費・寄付金によって支えられています。

市民の皆さんの会員加入、活動資金の支援についてご協力をよろしくお願いいたします。

☎弘前市社会福祉協議会総務課（☎33-1161）

各種無料相談

名称	とき	ところ	内容	問い合わせ・申込先
労働相談会	2月4日、午後1時30分～3時30分／2月16日、午前10時30分～午後0時30分	青森県労働委員会（青森市新町2丁目）	個々の労働者と事業主との間に生じた労働条件などのトラブル（事前予約優先）	青森県労働委員会事務局（☎017-734-9832）／労働相談ダイヤル（☎0120-610-782）
多重債務・消費生活法律相談会	2月29日、午後1時30分～3時30分	市民生活センター（駅前町、ヒロロ3階）	弁護士による多重債務者の生活再建に向けた相談、消費生活に関する法律相談（対象…市民4人〈先着順〉）	2月7日から、市民生活センター（☎34-3179）へ。
「解決の糸口を見つけに行こう！」相談会	2月29日、午前10時～午後4時	総合学習センター（末広4丁目）	お金の問題（多重債務問題など）／遺産相続／不動産売買／税金等公共料金の滞納／DV・離婚問題など（事前の予約が必要）	消費者信用生活協同組合青森事務所（☎0120-102-143）
女性のための無料法律相談 in 弘前市	3月3日、午後2時～4時（1人40分）	市役所市民防災館2階小会議室	法律に関する問題について女性弁護士がアドバイスします（先着3人）	2月25日までに、青森県男女共同参画センター相談室（☎017-732-1022、午前9時～午後4時、水曜日は休み）へ。

各種スポーツ・体操教室

教室名	とき	ところ	内容	対象・定員	参加料	問い合わせ・申込先
①まちなか体操教室	2月12日、午後1時30分～2時30分	サンタハウス弘前公園（元大工町）	ストレッチ、脳トレ要素を交えたボールを使った運動など	50歳以上の市民＝15人（先着順）	無料	2月11日までに、サンタハウス弘前公園（阿保さん、☎88-7707、 santa-kouen@gaea.ocn.ne.jp ）へ。
②市民弓道教室	2月17日～3月19日の毎週月・木曜日、午前10時～正午	青森県武道館近隣の弓道場（豊田2丁目）	弓の扱い方、基本動作、射技指導、巻わら稽古など	市民＝5人（応募多数の場合は抽選）	300円	2月13日までに、弘前弓道会（福島さん、☎090-5231-9562）へ。
③ソフトバレーボール体験教室	2月21日～3月27日の毎週金曜日（3月20日を除く）、午前10時～正午	金属町体育センター	ソフトバレーボールの基本やゲーム	市民＝15人	無料	2月13日（必着）までに、金属町体育センター（☎036-8245、金属町1の9、☎87-2482）へ。（※1）、（※2）
④あんよ美クス教室	2月21日・28日・3月6日の午後7時～9時	勤労青少年ホーム（五十石町）	音楽に合わせて楽しくできるストレッチ	市内に勤務または居住する働く青少年（おおむね35歳まで）＝10人（先着順）	無料	2月16日までに、勤労青少年ホーム（☎34-4361）へ。（※2）
⑤初心者向き健康ポウリング教室	火曜日教室…2月25日～3月31日／水曜日教室…2月26日～4月1日、午前コース…午前9時30分～午後0時30分／午後コース…午後1時30分～4時30分	弘前ファミリアポウル（高崎2丁目）	ポウリングの基本	各コース30人（事前の申し込みが必要〈曜日とコースを選択してください〉）	2,000円（全6回分）	弘前会場健康ポウリング教室（大塚さん、☎070-2172-7444）へ。
⑥水泳教室（平泳ぎ）	3月3日～19日の毎週火・木曜日、午前10時～11時	温水プール石川	平泳ぎの基本	クロールで25m泳げる市民＝15人	無料	2月15日（必着）までに、温水プール石川（☎036-8123、小崎崎字村元125、☎49-7081）へ。（※1）
⑦ヒロロ健康サークル	3月3日～24日の毎週火曜日、午前10時30分～11時50分（受け付けは午前10時～）	ヒロロ（駅前町）3階健康ホール	あつがる体操、あつがるストレッチなど	継続して参加できる40歳以上の市民＝30人程度	無料	2月14日（必着）までに、健康増進課（☎036-8711、野田2丁目7の1、☎37-3750）へ。（※1）、（※2）
⑧ふれあい高齢者ゲートボール親善大会	3月14日、午前9時～午後4時30分	弘前克雪トレーニングセンター（豊田2丁目）	リーグ戦	60歳以上の市民	1チーム（7人以上）＝3,000円	2月26日までに、弘前市社会福祉協議会（☎33-1161、ファクス33-1163）または弘前市ゲートボール協会（五十嵐さん、☎090-8928-2328）へ。

（※1）…往復はがきに、住所・氏名（ふりがな）・年齢（生年月日）・電話番号・教室名（希望コース）を記入の上、各申込先まで郵送を。家族や友人同士での参加ははがき1枚で応募可。多数の場合は抽選で決定。／（※2）…室内シューズが必要。／共通事項…飲み物、汗拭きタオルを持参し、運動できる服装で参加を。各自傷害保険に加入を。詳しい持ち物などは各施設に確認を。

健康の掲示板

弘前市保健センター（健康増進課、野田2丁目） ☎ 37-3750

母子保健

母子健康手帳の持参を。場所は弘前市保健センター（各指定医療機関での個別健診を除く）で、料金は無料です。なお、発熱など体調不良の場合は、次回に受診してください。対象者には個別に通知します（★は健康診査票が必要です）。

名称	とき	内容	対象・定員
乳幼児の健康診査	4か月児★ 7か月児★	各指定医療機関での個別健診	
	1歳6か月児★	集団健診：2月26日（水）・27日（木）／受付＝午後0時30分～1時15分 ※集団健診を受診する前に指定医療機関での個別健診を受診してください。	
	3歳児	2月12日（水）・13日（木）／受付＝午後0時30分～1時15分	平成28年7月生まれ
	1歳児歯科 2歳児歯科★	2月19日（水）・20日（木）／受付＝午後0時30分～1時 対象＝平成29年8月生まれ…各指定歯科医療機関での個別健診	平成31年2月生まれ
離乳食教室	2月25日（火）、午後1時～2時30分／受付＝午後0時40分～1時 ※2月3日～21日に申し込みを。母子健康手帳・バスタオル・おむつ・ミルクの持参を。	令和元年9月生まれ	

健康コラム

～健康情報ステーション～

今より10分多くからだを動かしましょう（プラス10）

今より10分多く体を動かすだけで、糖尿病などの生活習慣病やがんのリスクを3～4%減らせることがわかっています。プラス10が毎日の習慣になれば、内臓脂肪が燃焼して腹囲や体重が減少し、高血圧や脂質異常、高血糖も改善します。普段の生活の中で、無理なく毎日プラス10を心掛けてみませんか？



各種相談

名称	内容	とき	ところ
こころの健康相談	本人や家族のこころの悩み、家族を自死で亡くした人の悩みについて	2月4日（火）、午前9時～11時（事前の予約が必要）	弘前市保健センター（野田2丁目）
のびのび子ども相談	発達相談（ことばが遅い、落ち着きがないなど）。対象は市民で1歳以上の幼児とその家族。母子健康手帳の持参を。	2月18日（火）、午前9時30分～午後3時（受け付けは午後2時まで。2月3日～17日に、事前の予約が必要）	弘前市保健センター（野田2丁目）
ヒロコすこやか相談	①妊娠、出産、妊娠中の栄養相談（対象は妊婦とその家族）／②育児、母乳、食事や栄養、歯みがきなどの相談（対象は0～5歳児の家族。母子健康手帳、歯の相談希望者は普段使っている歯ブラシの持参を）	2月17日（月）、受け付けは午前10時～10時30分	駅前こどもの広場（駅前町、ヒロコ3階）

・市で実施している健（検）診の詳細内容は、毎戸配布している「健康と福祉ごよみ」をご覧ください。
・市に住民票のある協会けんぽ加入者（被扶養者）は、協会けんぽの特定健診と市のがん検診等を同時に受診できる場合があります。詳しくは申し込み時に問い合わせください。

健康と福祉ごよみはこちらから

健康と福祉ごよみ 検索

インターネット予約はこちらから

弘前市 集団検診 検索

定期予防接種など

【子どもの定期接種】

定期の予防接種は、対象年齢から外れると有料になりますので、対象の年齢になったら、体調のよい時に早めに接種しましょう。

来年度小学校へ入学予定の幼児は、受けていない予防接種がないか確認しましょう。また、小学校6年生の児童で、まだ2種混合（ジフテリア・破傷風）を受けていない人は早めに接種しましょう。

子宮頸がん予防ワクチンは、小学校6年生から高校1年生（相当）の女子は定期接種として受けることができます。

【高齢者肺炎球菌感染症の定期接種】

対象者には個別に通知しています。今年度対象者の公費助成は今回限りですので、希望する人は早めに接種しましょう。

▼接種期間 3月31日まで
▼対象 今年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上になる人で、今までワクチンを接種したことのない人

▼自己負担 5,000円（生活保護受給者は無料）

【風しんの追加的対策（風しん第5期定期接種）】

今年度は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に無料クーポン券を送付しています。クーポン券には有効期限がありますのでご注意ください。

【風しん抗体検査とワクチン接種費用を全額助成】

風しん抗体価が低い妊婦とお腹の赤ちゃんを守るために助成を行っています。

▼対象 市内に住所を有し、平成2年4月1日以前に生まれ

た、妊娠を希望する女性とその同居者および風しん抗体価が低い妊婦の同居者

※昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性（抗体価が低い人を除く）および風しんにかかったり、過去に助成を受けている人は対象から外れます。希望者は事前に申請が必要です。

おしらせ

【市民公開講座「アレルギーとどう付き合うか～知っておきたいアレルギーの知識～」】

▼とき 2月22日（土）、午後2時～4時

▼ところ 弘前文化センター（下白銀町）2階中会議室

▼内容 「花粉症対策」…講師・高畑淳子さん（弘前大学医学部附属病院耳鼻科）、「毎日吸入、喘息治療の大原則」…講師・山本勝丸さん（国立病院機構弘前病院呼吸器科）、「食物アレルギーの話」…講師・相澤知美さん（弘前大学医学部附属病院小児科）、「アトピー性皮膚炎の診断と治療」…講師・六戸大樹さん（弘前大学医学部附属病院皮膚科）

▼参加料 無料
※事前の申し込みは不要。

■問い合わせ先 弘前大学保健管理センター（高梨さん、☎ 39-3126）

【令和元年度岩木健康増進プロジェクト結果報告会】

岩木健康増進プロジェクト健診の結果を中心に、健康のレベルアップに役立つ最新情報や実践例についてお話しします。

▼とき 2月29日（土）、午前9時30分～正午（受け付けは午前9時10分～）

▼ところ 中央公民館岩木館（賀田1丁目）2階大ホール

▼参加料 無料
※事前の申し込みは不要。

■問い合わせ先 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座（☎ 39-5041）／健康増進課（☎ 37-3750）

【第1回青森県感染対策協議会（AICON）市民公開講座】

▼とき 2月29日（土）
午後2時～3時10分

▼ところ 市民文化交流館ホール（駅前町、ヒロコ4階）

▼内容 ほんとはこわい高齢者の肺炎…講師・齋藤紀先さん（弘前大学大学院医学研究科臨床検査医学講座准教授）

▼定員 50人程度
▼参加料 無料

※事前の申し込みは不要。

■問い合わせ先 弘前大学医学部附属病院感染制御センター（尾崎さん、☎ 39-5176）

【令和2年度前期受講生の募集「ヘルシーエイジング」】

▼とき 4月6日～9月28日の第2～第4月曜日、午後1時15分～3時30分（9月28日は午後4時30分まで）

▼ところ ヒロコ（駅前町）3階健康ホール

▼内容 高齢者向け体操・運動／歌唱指導／健康講座・測定／コーナー活動（ヨガ、囲碁など）

▼対象 70歳以上の弘前市在住者＝60人

▼参加料 2,500円（全19回分）、コーナー活動費300円以内（6カ月分）。

▼申し込み方法 2月28日（必着）までに、往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、ヘルシーエイジング（〒036-8231、稔町14の1、齋藤紀宛て）へ申し込みを。

■問い合わせ先 ヘルシーエイジング（齋藤さん、☎ 34-2649）

※留守番電話の際は折り返し連絡しますので、電話番号をお知らせください。



やまざき りくと
山崎 睦叶くん
H31.2.21 生 (泉野4)



たておか りこ
館岡 里虹ちゃん
H31.2.16 生 (田町4)



ふじた かく
藤田 岳くん
H31.2.22 生 (取上5)



くどう さき
工藤 咲希ちゃん
H31.2.1 生 (賀田1)



こしか りん
小鹿 凜くん
H31.2.9 生 (宮川3)



みかみ まな
三上 茉愛ちゃん
H31.2.12 生 (富士見町)



おやま あさひ
小山 旭柁くん
H31.2.6 生 (八代町)



かとう はるま
加藤 晴馬くん
H31.2.23 生 (新寺町)



ふくざわ ぎんた
福澤 銀大くん
H31.2.5 生 (駒越)



ささき ゆうのすけ
佐々木 優之介くん
H31.2.9 生 (南城西2)



きくち さく
菊池 朔空くん
H31.2.5 生 (湯口)



なりた ゆいと
成田 結斗くん
H31.2.11 生 (取上1)



まかなえ ひいろ
蒔苗 陽色くん
H31.2.4 生 (田園4)



かとう はるあき
加藤 晴之くん
H31.2.23 生 (撫牛子2)



くどう ゆづき
工藤 優月ちゃん
H31.2.19 生 (北園1)

引き換えはお済みですか？

市では0歳児を対象に、絵本2冊と読み聞かせのアドバイス集などをセットにしたブックスタートパックをプレゼントしています。対象者には無料引換券を送っていますので、1歳の誕生日の月末までに忘れずに引き換えてください。

▼引き換え場所 弘前図書館(下白銀町)、岩木図書館(賀田1丁目)、こども絵本の森(ヒロロ3階)、相馬ライブラリー(相馬やすらぎ館内)

■問い合わせ先 こども絵本の森(☎35-0155)



3月1日号の投稿募集

応募締め切り 2月5日(水・必着)

Smile 1歳の記念に写真を通信 掲載しませんか

- ▼対象 令和2年3月に1歳の誕生日を迎える市内在住の子
- ▼掲載内容 子どもの写真・氏名(ふりがな)・生年月日・住所(町名・丁目まで)
- ▼応募方法 ①写真1枚(プリントまたはデータ)に、②子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・性別・住所・保護者氏名・電話番号を添えて、郵送、持参またはEメールで応募を。

川柳のお題 「とろける」

お題から自由に発想して、川柳を一句ひねってみてください。
▼応募方法 次の事項を記入し、郵送、持参、ファクスまたはEメールで応募を。
①住所・氏名・ペンネーム(希望者のみ)・電話番号
②川柳(1人一句まで)
※応募多数の場合は、採用されない場合もあります。

★問い合わせ・応募先
広聴広報課(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎35-1194、ファクス35-0080、Eメールkouhou@city.hirosaki.lg.jp)

※Eメールで投稿した人には受信完了メールを自動配信しています。メールが届かない場合は広聴広報課へご連絡ください。

※川柳は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字などで表記する場合があります。

良い人とねばげる糊を探してる
ねばてらじゃ千円札が私のもうけ
そでぐぢさねばったままつぶたらこ付き
うずげでねばっててくる孫かわい
寒近しカイロねばげでやり過ぎ
ねばってもいつも離れるイケメンは
ねばるもちえがおで食べるお正月
寝ころぶとすぐにねばるチワワ犬

- マダムみゆき
- にいおか 洋子
- 金欠貧血
- 小坂 智
- 成田 純
- 古山 和子
- あおりんごちゃん
- 桜子

鏡餅ねばりねばって百を越え
冷蔵庫ドアと左右にねばるメモ
ネパールもち上下のアゴでお餅つき
ぼんのごさ毛虫ねばってうるだえだ
あの父が孫さ顔ねばけで目じり下げ
爺と婆ねばてはなれじ卒寿みち
我さねばて全国廻る津軽弁

- 藤代 藤子
- 福士 長五郎
- 對馬 義秀
- 戸 勇
- 南柳
- 神 夢
- 田沢 勝衛
- 城子
- 三浦 のり子
- リカバリー X
- 森岡 淳子
- 木村 ヨシ
- 工藤 山椒
- 格 和代
- 紺屋の白袴
- 一戸 一彦
- 宮本 愛子
- つがる・ヤサブロー
- 吉川 テツ子
- 菊池 喜蔵
- たんぼの子

津軽弁で

さらっと一句・川柳
今月のお題「ねばる」

選・広聴広報課

図書館にいこう!



2月のおたのしみおはなし会

『あそび・ユーモア』をテーマに、絵本の読み聞かせ、紙しばい、昔ばなし、なぞなぞなどを楽しめます。

▼とき 第1・第3土曜日の午前11時～11時30分、第2・第4土曜日の午後3時～3時30分

▼ところ 弘前図書館（下白銀町）1階閲覧室おはなしコーナー

▼対象 おおむね4歳～小学校低学年までの児童

▼参加料 無料

※事前の申し込みは不要。

■問い合わせ先 弘前図書館（☎32-3794）

ビブリオバトル in 弘前図書館

発表者が推薦する本の魅力を順番に紹介し、観戦者による質疑応答の後、参加者全員の投票で「チャンプ本」を決めるゲームです。

▼とき 2月29日（土）、午後1時30分～3時

▼ところ 弘前図書館（下白銀町）2階視聴覚室

▼定員 発表者＝5人、観覧者＝40人（各先着順）

▼申し込み方法 弘前図書館カウンターまたは電話で申し込みを。また、申し込みの際は発表者、観覧者どちらでの参加かお知らせください。

■問い合わせ先 弘前図書館（☎32-3794）

2月の休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	岩		相			
9	10	11	12	13	14	15
	岩		相			
16	17	18	19	20	21	22
	岩		相	弘		
23	24	25	26	27	28	29
	岩		相			

弘 弘前図書館（下白銀町）☎32-3794

岩 岩木図書館（賀田1丁目）☎82-1651

こ こども絵本の森（ヒロ口3階）☎35-0155

相 相馬ライブラリー（相馬やすらぎ館内）☎84-2316



弘前市食生活改善推進委員会

File.98

食改さんおすすめ レシピ

「だす活」レシピ

にんじんと昆布のなます

材料

4人分

- にんじん 150g
- 大根 150g
- 塩 小さじ1/2
- 塩昆布 5g
- * 酢 大さじ3
- はちみつ 大さじ1

①にんじんと大根は千切りにし、塩を加えて塩もみする。10分くらいおき、しんなりしたら水分をしっかりと絞る。

②ボウルに*印の調味料を合わせ、①のにんじんと大根を加えて、全体によく混ぜたら出来上がり。

■1人分の栄養量 エネルギー/40kcal、たんぱく質/0.7g、脂質/0.1g、食物繊維/1.6g、食塩相当量/0.8g



おすすめポイント

- 食育料理家なぎさなおこさんのレシピです。レモンやゆずなどかんきつ類を加えるとフルーティーになります。
- 「だす活」とは、旬の野菜のカリウムにより、体から塩分の排出を促すことです。「だし活」と併せることで、減塩の効果がさらに期待できます。「だす活」と「だし活」で、いつまでも血管を若く保ちましょう！



File.22

弘前市消防団
纏（まとい）振り研究会会長
すがわら まさや
菅原 雅也さん



プロフィール

伝統のまとい振りをずっと伝えていきたい

私は消防団に所属していて、火災時の消火活動の手伝いなどの他に、まとい振りをしています。まとい振りをしていた叔父に誘われて始め、20年ほどになります。初めは「まとい」が何かということすら知りませんが、今ではすっかりその奥深さに魅せられています。

弘前のまとい振りは、江戸まといなど他の地域のまとい振りと違って、体で大きく振るのではなく、重心はそのまま、体重移動と手の動きだけで「ばれん（まといに垂れ下がった細長い飾り）」を開かせます。また、式典では1人の号令で100本ほどのまといが一斉に同じ動き



▲出初式でのまとい振り

をし、ばれんを返す音を合わせます。ゆっくりとした動きながらも大きくばれんを開かせ、統一感があるというのが弘前のまとい振りならではの美しさです。弘前に町火消しが誕生したのは1795年（江戸時代）と言われているので、まとい振りの歴史もその頃から続いていると思います。昔は火事場の目印になるように、屋根の上でまといを振っていたそうですが、今でも左足で足元を探りながら右足で進むという動きがあり、当時の名残を感じます。弘前のまとい振りは、昔からの形を崩さず、ずっと続いているのです。

弘前市消防団には第1から第5までの方面団があり、各方面団にまといの振り手があります。私が所属する第1方面団には、『纏振り研究会』というものが、16分団から45人が参加しています。毎月1回定例会を開き、まとい振りの腕を磨いています。研究会でのお披露目で、先輩方への了承を得ないと、

弘前市出身。弘前市消防団に所属。第1方面団で結成されている「纏（まとい）振り研究会」の14代目会長を務める。

式典でまとい振りの列に入れませんが、まといは10kgほどの重さがあり、バランスを取りづらく、はじめは片手で持って歩くこともままならないため、私もお披露目前には1カ月間毎日練習したものです。まといを力任せに振ってもばれんは開きません。体の大きさや力の強さは関係なく、努力すればするほど上手くなる。どこまでやっても完成形ということがなく、それが難しいところでもあり、魅力でもあります。

弘前のまといの素晴らしい歴史と伝統を受け継ぎ、次の世代に伝えていきたいと思っていますし、市内外のたくさんの人に知ってほしいです。もし、興味を持った人がいたら、ぜひ消防団に入り、一緒にまといを振ってもらいたいです。

たか丸くんの ごみ減量速報

令和元年11月の
ごみ排出量 **4,797t** **360t減!**
(燃やせるごみ) (昨年同月比)

雪が降っているとごみ出しは大変だね。集積所が雪で埋まってしまわないように、みんなで管理しよう!冬でもカラスに荒らされてしまうから注意!



■問い合わせ先 環境課資源循環係（☎35-1130）

今号の表紙+1枚

新成人の願いをのせて...

成人式後の成人祭では、新成人が思い思いの夢や願いを記したメッセージバルーンを飛ばしました。空へ大きく飛び立つバルーンを見送りながら、新成人たちはそれぞれの未来へ思いをさせていました。



今月の納税

市・県民税 第4期 国民健康保険料 第8期
介護保険料 第8期 後期高齢者医療保険料 第8期

納期限

3/2 (月)

納税には便利な口座振替をぜひご利用ください。



雪と温泉で冬を楽しみませんか

スノーシューウオーキング & 温泉



雪原の岩木山麓をスノーシューで歩いてみませんか？

▼とき 2月8日・15日・22日・29日
(いずれも土曜日)、各回とも午前9時集合、午後2時頃解散

▼ところ 津軽カントリークラブ岳コース
(常盤野字湯段范)

▼集合場所 嶽温泉郷駐車場(常盤野字湯の沢)

▼内容 ①ウオーキング：1.5km～3kmを予定(その日の天候により変更します)／②昼食・休憩：嶽温泉『山のホテル』にて「マガキ飯と温泉」／③オリジナル完歩バッジプレゼント

▼参加料 各回とも4,000円/人(傷害保険料込み、当日の受け付け時にお支払い

ください)

▼募集人数 各回とも中学生以上=10人程度(先着順)

※申込者が少数、または悪天候の場合は中止する場合があります。

▼申し込み方法 各回とも開催日の2日前までに、岩木山観光協会(☎83-3000、平日の午前9時～午後4時)へ

▼持ち物 ①厳冬期に屋外をウオーキングするのに適した服装／②入浴時のタオルなど(温泉にボディソープとシャンプーはありません)

※スノーシューとポールは無料でレンタルできます。

■問い合わせ先 岩木総合支所総務課(地域おこし協力隊・伊藤さん、☎82-1621)

シンポジウム

「世界遺産と縄文—大森勝山遺跡の

世界遺産登録に必要なものとは?—」

令和元年12月20日、弘前市の大森勝山遺跡も構成資産の1つとなっている、世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の、世界遺産登録への推薦が正式に決定しました。

今回、世界遺産と縄文文化をテーマにシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、国内外から見た縄文文化の価値、そして、世界遺産登録に向けて、縄文遺跡群と大森勝山遺跡に必要とされているものについて、専門家が講演します。

▼とき 2月11日(火・祝日)、午後1時～5時

▼ところ 市民文化交流館ホール(駅前町、ヒロロ4階)

【講演会】

▼内容と講演者 「史跡大森勝山遺跡のこれまでとこれから—世界遺産登録に向けて—」…岩井浩介さん(市文化財課主幹)／

「縄文文化へのまなざし—世界から見た縄文—」…品川欣也さん(東京国立博物館調査研究課考古室長)／「縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて必要なこと—近年の動向から—」…鈴木地平さん(文化庁文化資源活用課世界文化遺産部門文化財調査官)

【パネルディスカッション】

▼テーマ 世界文化遺産登録に向けて、縄文遺跡群と大森勝山遺跡に求められるもの

▼コーディネーター 岡田康博さん(青森県企画政策部理事〈世界文化遺産登録推進室長〉)

▼入場料 無料

※事前の申し込みは不要。

▼その他 当日は記録のため、当課職員が写真・動画の撮影を行いますので、ご了承ください。

■問い合わせ先 文化財課(☎82-1642)

